

学校教育目標	人とのかかわりを大切にしながら、自分で考えて行動し、心身ともにたくましい子を育てます ○自分のよさや課題を理解し自らを伸ばしながら、みんなで課題を解決していく子を育てます。(知) ○自分を律し場をわきまえた言動をしたり、相手の思いを受け止め優しい心で接したりできる子を育てます。(徳) ○健康でたくましい心と体をつくり、命を大切にすることを。(体) ○永田のまちを愛し、地域や社会のために他者と協働する子を育てます。(公) ○自分や、周りの人・もの・こととのかかわりを大切にできる子を育てます。(開)				
	創立 60 周年 児童生徒数: 542 人	学校長 広木 敬子 主な関係校: 永田中学校 永田台小学校	副校長 落合 史男	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 6

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	永田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
言語能力 自分づくりに関する力	永田中学校 永田小学校 永田台小学校	あいさつを通して永田のまちのつながりを意識する子 自分も友達も大切にする子 進んで学習に取り組む子 ・職員からの積極的な挨拶運動 ・児童会、生徒会を中心に、つながりある挨拶運動 ・ブロック内での頻繁な情報交換、情報共有、継続した温かい指導・見守り ・人権教育の推進、3校児童生徒間交流の継続 ・小中授業交流会を通して、ブロックの授業力向上

中期取組目標	○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、主体的で対話的な学びを充実させます。 ・1年目は特に学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進し、子どもの学習意識を高めます。 ・2年目は子どもが主体的に学び、言葉を大切にしながら、自分の想いを正確に伝える力を育てます。 ・3年目は主体的に学ぶ中で、自分の考え、思いを伝え合い、考えを深めることができるようになります。 ○まちの「人」とのつながりを意識し、豊かな体験を通して、まちを愛する心を育てます。 ・3年間を通して、まちとのつながりを大切にしたい学びを増やし、一人ひとりが自己有用感をもち、「永田のまちの子」であることを誇りに思いながら楽しく学校生活を送れるようにします。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導	①子どもが主体的に学習に取り組むことができるような、子どもが楽しいと思える単元構想と授業展開を行うようにする。②子ども自身が何を学ぶのか明確にできるように、学習計画を立て、個のめあてや振り返りを大切に、個の見取りができるようにする。
担当	確かな学力部会	
徳	人権教育	①挨拶運動を中心に挨拶を交わすことによって児童同士が気持ちよく、人間関係を構築できると実感できるようにする。②引き続き、学校保健委員会にて、言葉や気持ちの表現の仕方について、年間を通して考え、認め合える人間関係づくりを目指す。③教職員向けの人権研修を取り入れ、多様性や体罰、パワハラなどへの意識の向上を目指す。
担当	豊かな心部会	
体	健康教育	①体力テストの結果分析を基にした体力向上推進運動を計画する。委員会を中心とした児童の取組にしていく。日々の体育科授業が充実するよう、メンター研とも共同して授業改善を図る。②養護教諭による命の授業、栄養職員と連携した食育授業を全学級で行い、保護者との連携を大切に健康教育の充実を図る。
担当	健やかな体・安全部会	
公開	地域学校協働活動	①学校運営協議会と連携を取り、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という目標を推進していく。②職員や子ども、地域、保護者の思いも取り入れた新しい学校教育目標の基、創立60周年を盛り上げていく。③「永田助っ人隊」による学習支援を推進する。
担当	教務	
いじめへの対応		①いじめ認知を積極的に行い、児童・保護者の心情に寄り添う。②月末にいじめ防止対策委員会を開き、共有と認知事案の経過確認を行い再発防止に努める。緊急時は、即時会を開き対応。③児童アンケートで些細な変化を見逃さない体制をつくる。SOSの出し方プログラムを夏季休業前に実施。自分づくり、仲間づくりとして横浜プログラムの実施。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①教師も主体的に学んでいくために、自分たちに必要な力・学びは何かを考え、その力が身につくように計画を立て、取り組んでいく。②余剰時間の調整を行い、放課後教職員が事務作業を行う時間を少しずつ確保する。また、会議資料の事前データ配信(Googledrive等活用)による効率化・時短化を加速させていく。
担当	メンターT、教務	
授業改善		①算数科重点研究を通して、数学的な見方・考え方を働かせ、問題を発見し解決する力を育成する。②低・中・高学年ごとに目指す子どもの姿を設定し、年間を通してその目指す姿を目指して授業改善を図っていく。③講師からの指導助言を次の研究授業につなげることで、全体の授業力向上を図ると共に、他教科でも資質・能力ベースの授業実践をする。
担当	推進委員会	
児童生徒指導		①SCやSSW、他機関との連携を強化し、児童や保護者の困り感に寄り添う児童指導をする。②担任、専任、専科が連携し合い、情報を素早くキャッチすると共に、管理職や全体での情報共有を迅速に行い、チームとして児童指導にあたるようにする。③スタンダードを共通理解し、ぶれない指導をする。
担当	児童支援	
安全教育		①避難訓練や防犯訓練を計画的・定期的に行う。また、学級での日々の指導で子どもの安全意識を高める。②警察、消防署と連携し、事故を防ぐ生活の仕方や災害時の動き方を子どもが身につけられるようにする。③安全教育推進校の初年度で、企業・地域と連携して安全教育に取り組む。
担当	安全部	
担当		